

# 福山駅前再生フォーラム2019を開催しました！

日時: 2019年(平成31年)3月22日(金曜日)15:00~  
場所: ローズコム4階大会議室

福山駅前の再生の取組は着実に進み、駅前は少しずつ変わっています。  
福山駅前再生フォーラム2019では、今後、福山駅前の再生に向けて必要な取組について、地元で活躍している方とまちづくりの専門家たちが熱く語り合いました。



角田 千鶴さん

## 若者や女性が活躍できる環境や次世代を巻き込んだ環境づくりが必要だ。

- ・若手起業家の最初の一步の負担を軽減することで、若者が活躍する環境を作っていきたい。
- ・駅前に自転車やベビーカーで子どもを連れて行きたいと思えるような環境づくりが必要だと思う。
- ・福山に仕事をする環境と遊べる環境を揃える事が出来れば、福山にターン、Uターンをする人達が増えると思う。

## 昔ながらの良さと雰囲気が残る伏見町の価値を発信したい。

- ・伏見町は昔ながらの雰囲気が残るまち。それも伏見町だけが持つ価値の一つだと考えている。仲間と一緒に伏見町の価値を発信し、盛り上げていきたい。
- ・伏見町で開業した店舗が新しいコンテンツとなっていき、まちに変化が起きるのではないかと考えている。
- ・「文化市伏見町」というイベントを日常的に実施していくため、今後は自立した運営をめざしていきたい。



池口 峻平さん



明石 卓巳さん

## エリアの性格付けを行うことが必要だ。

- ・エリアを細分化して、訪れて欲しい人にあった性格付けをすると良い。そうすれば、駅前周辺のエリア全体で様々な人を取り込んでいける。
- ・1日の時間を因数分解するという発想で、昼と夜のコンテンツを作ると同じエリアで様々な人が楽しめる。
- ・次の世代の担い手である子ども達の記憶に残る思い出の場所を作ることが必要。今だけが楽しければ良いのではなく、次世代に渡していく責任がある。記憶に残っていれば、将来まちが衰退したとしても、食い止めようと動くプレイヤーが生まれる可能性がある。

## 公共空間を魅力的に使い、地域の魅力を高めることが必要だ。

- ・公共空間を魅力的に使うと地域の魅力が高まる。それを伝えることで人が集まり、そこに自立した民間投資が生まれ、魅力的な公共空間を維持できる。
- ・公共空間の活用はやりたい人が集まって、小さなことから始めれば良い。
- ・福山の面白さを発掘して発信していくことが必要。新たなファンを作るには時間がかかるが、みんなで協力してやっていかなければならない。



西村 浩さん



清水 義次さん

## 車を中心にしたまちづくりから、人を中心にしたまちづくりに変えていくべきだ。

- ・これまでは車を優先したまちづくりの政策が行われてきたが、今後は人を中心にしたまちづくりの政策を行っていくべきだ。
- ・伏見町が変わり始めているのは間違いない。ビジョンの策定からわずか1年で、変わり始めたのは、福山市のポテンシャルが高いからだ。
- ・今後、当事者となって、実現することができる人に関わってもらい、リアリティのあるまちの姿を市民参加で作り上げていきたい。